

平成 30 年度版 MY WAY English Expression II New Edition 編集の趣旨

発行者		教科書	
番号	略称	記号	番号
15	三省堂	英II	319

I. 本教科書のめざすもの

本教科書は、表現する際に必要となる英文法を、英語表現 I で学習した基礎を復習しつつ、より発展的な内容をていねいに学習することを主眼として編集されました。さらに、学習指導要領に沿って、まとまったパラグラフを書く活動、自分の考えなどをまとめて発表する活動（プレゼンテーション）や発表への質疑応答、そしてしめくりにディスカッション、ディベートも取り上げます。

II. 全体構成

1. 3部構成

全体は、主に文法や重要構文を学習するPart 1、パラグラフ・ライティングを学習するPart 2、ディスカッション、ディベートを学習するPart 3の3つの部分から構成されています。

2. 言語材料

英語表現 I で扱えなかった発展的な文法事項や構文を中心としますが、英語表現 I で学習した基礎的な事項の復習もていねいに行います。また、入試などでもしばしば取り上げられる重要構文にも力を入れています。パラグラフ・ライティング、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートでは、それぞれに特有の表現を重点的に学習します。

3. 段階を踏んだシラバス

各項目ごとに英語表現 I の内容を復習した後、より発展的な文法を学習していきます。ひとつのレッスンに内容を詰め込みすぎることのないよう、配慮しました。パラグラフ・ライティングやプレゼンテーション、ディベートなども無理なく行えるよう、段階を追って学習していく構成になっています。

4. 題材の設定

文法の教科書ではありますが、各レッスンには題材内容を設定しました。これは、内容が無味乾燥な文法の例文の羅列になることを避けるため、学習意欲の向上、学習内容の定着の改善につなげることを意図しています。パラグラフ・ライティング、プレゼンテーション活動や質疑応答、ディスカッション、ディベートでは、高校生の書きやすい、話しやすい題材になるよう配慮

しています。

III. 使いやすいレッスン構成

Part 1の文法シラバスレッスンは、基本的には1レッスン見開き2ページ構成で、左側ページが例文と解説、右側のページが練習問題となっています。「例文の説明」「練習問題の答え合わせ」の繰り返しに終始しがちな文法の指導に変化をつけるため、導入のリスニング活動、途中での短いタスクやリーディング活動など、授業を単調なものにしない工夫を施しています。

1. タイトル

題材内容の提示とともに、学習する文法事項を示します。ターゲットとなる文法事項を使わない、導入のための単純なリスニングも配しました。

2. POINTS

文法事項を学ぶための例文および簡潔な解説から構成されています。各レッスンで2つの事項を取り上げていて、それぞれにいくつかの例文を付しました。

3. Check!

POINTSで学習した事項を扱う、簡単な確認問題です。文法事項の提示が一方的な解説に終わらないよう、生徒が参加する場面を作ることが主な目的です。

4. Grammar in Use

学習した文法事項を織り込んだ、短い英文です。題材に関連した内容で、簡単なリスニング活動を行います。

5. Exercises

文法事項を定着させる、練習問題です。問題の数はある程度の分量になりますが、内容は平易なものです。

6. USE!

学習した文法事項を使って、短い英文を作ってみる練習です。指導要領の指定する「話す」活動をするところでもあります。

VI. プレゼンテーション、パラグラフ・ライティングとディスカッション、ディベート

パラグラフ・ライティングはPart 2で扱います。さまざまな基礎的パラグラフ構成法を使って、ひとつのパラグラフを書くことを学習します。扱う構成法は、**examples, classification, comparison and contrast, cause and effect, analysis**の5つです。それぞれの構成法についていねいに学習した後、生徒は段階を追いながらパラグラフをひとつ書いていきます。

プレゼンテーション活動は、各Unitに1箇所ある、**Project Work**というコーナーで学習します。英語表現 I でも発表活動はしていますが、ここでは発表するだけでなく、発表された内容に対して質問や意見を述べ、またそれらの質問に対して答える練習もします。これらの活動は、ディスカッション、ディベートのための基礎にもなるものです。

ディスカッションとディベートは、**Part 3**で学習します。それぞれ高校生にとって扱いやすいトピックを選定し、準備段階から実際の活動まで、段階を踏んでいねいに進めていきます。モデル・ディスカッション、モデル・ディベートも掲載しました。

V. その他

- ・似た内容の文法事項を扱う4～5レッスンを、**Unit**としてまとめました。それぞれのUnitごとにトビラページには文法事項を大づかみにとらえる内容を掲載しています。
- ・いくつかのレッスンごとに、**Review Exercises**としてまとめの問題を掲載しました。さらに文型・文法の理解・定着を深めることができます。
- ・巻末には、**Lesson 1~21**で学習した言語材料の一部を活用する活動のコーナー**Communication Activity**を6回分掲載いたしました。